

## 第61回中国地区学校保健研究協議大会報告

日時：平成28年8月18日（木）

場所：とりぎん文化会館（鳥取市）

出席者：沖田 敏宜、中村 芳生、河添 真一

### 1. 特別講演 9：45～11：15

講師：筑波大学教授・附属中学校長 野津 有司 先生

演題 青少年の健康危険行動と防止教育

青少年危険行動とは、「青少年期に始めやすく、本人や他者の現在および将来の健康や生命に重大な危険を及ぼす行動」であり、青少年期に危険行動が始まると大人になるにしたがって定着、悪化していくこと、危険行動は相互に関連しあって出現すること、より早い時期から包括的に対処することが重要であること、予防可能であることなどと捉えられている。我が国の青少年における危険行動の実態は、この10年間で、危険行動の出現状況は、男女ともに総じて良好な傾向に変化していることが示された。しかし、全学年の「野菜・果物摂取」や高3女子の「有酸素運動」が悪化していたり、「自殺願望」がほとんど改善されていない等の問題もみられた。

青少年の危険行動防止のための教育の充実に向けたさらなる方策の一つとして、レジリエンスの育成が注目される。レジリエンスとは「困難で劣悪な状況や環境にもかかわらず、うまく適応する過程、能力、および結果」と定義され、社会的環境をよりよく整える取り組みがまずは必要であるが、青少年自身が自ら様々の悪影響を跳ね返したり、障害や困難の中にあってもそれを乗り越えていく能力を身に付けること、すなわちレジリエンスを育成することも重要である。

青少年の危険行動を防止するためには、学校、家庭および地域がそれぞれ、その専門性や特質を生かして有機的に連携することが不可欠であり、この連携を図ることは、二重のロックのかかった2つのドアを開けるがごとく難しいといえる。しかし、1枚目のドアの2つの鍵とは「共通理解」と「相互尊重」であり、2枚目の2つの鍵とは「役割分担」と「協調的アプローチ」であることをそれぞれの立場でしっかりと受け止め、共に前進したい。

### 2. 職域部会（学校薬剤師部会） 12：30～14：00

<テーマ>各県の学校、薬剤師会、教育委員会の検査器具の備蓄状況について

<シンポジウム>

岡山県学校薬剤師会	副会長	庄司	蔵万
島根県薬剤師会学校薬剤師部会	副部会長	佐々木	喜慶
広島県学校薬剤師会	常務理事	竹本	貴明
山口県学校薬剤師会	会長	沖田	敏宜
鳥取県薬剤師会学校薬剤師部会		長尾	尚美

- ・各県の検査器具の備蓄状況についての報告があったが、ほぼ同じような状況。  
日常点検で用いる残留塩素計・プール水温計・pH測定器、授業で使用する二酸化炭素のガス検知器は、学校に整備してある所が多い。
- ・学校側・教育委員会側の学校環境衛生検査に対する認識はまだまだ薄いですが、学校薬剤師が熱心な地域では、市町村の教育委員会も学校環境衛生検査の必要性の理解を得ているところもある。
- ・検査項目100%完全実施は検査機器が充実していないと出来ないが、市町村の教育委員会は予算が無いという事で、なかなか購入してもらえない。どのようにしたら学校環境衛生検査について理解してもらえらるだろうか？  
→教育委員会に何度も話をしに行く。  
学校環境衛生検査についての担当者をおいてもらう  
検査に同行してもらって、必要性をアピールする（熊本の先生の活動例）  
市議会で学校環境衛生検査についての質問をあげてもらおう  
（鳥取市）1年かけて機器を揃えてもらった  
（広島市）区に1セット全ての検査機器が揃っている
- ・昭和33年に「学校環境衛生検査に必要な機器は保健室におくべきである」という局長通知が現在も活かしているかどうかを把握するのに、今回の調査が良いきっかけになった。学校にある古い機器はこの時購入されたものではないだろうか。学校環境衛生検査の認識が薄いという事は、この局長通知は活かしていない可能性がある。
- ・学校薬剤師の認識が薄い場合はどうすれば良いか？  
→必要最低限の検査から行ってもらうようにする  
検査の効率化を提案してあげる
- ・H29年2月19日（日）全国学校環境衛生研究協議会（広島）が開催される予定。  
現状に合った学校環境衛生基準として、検査項目の簡略化を検討しても良いのでは。

#### <認定こども園について>

- ・制度が始まって間もないので、それぞれで学校薬剤師の配置の有無がばらばら。  
調査を行って、県としての対応をきちんと統一するべき。  
水道は直結がほとんどなので、日常点検が必要  
揮発性有機化合物（ホルムアルデヒド）は子供だからこそ必要
- ・学校環境衛生基準をそのまま当てはめるのはどうなのか？  
プールは溜め水なので、プール検査が必要か？  
机に座っているのはせいぜい20分なのに、照度は机上で測定するのか？  
ダニは絶対いるので、検査しないでほしい  
騒音は園側がうるさいので、逆に周りの住民に迷惑をかけている

<次回は、平成29年8月17日（木）岡山>

3. 班別研究協議会 14:30～16:30

＜学校環境衛生活動と喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育＞

・薬物乱用防止教育への取組

～ 自分自身を大切にできる児童をめざして ～

隠岐の島町立北小学校 養護教諭 濱 典子

・薬物乱用防止教育への取組

～ 身近な健康問題として考え、行動できる指導をめざして ～

鳥取県琴浦町立東伯中学校 養護教諭 牧野 浩子

・学校環境衛生活動で主体性を育む生徒保健委員会

～ 保健教育の一環としての日常点検 ～

山口県立長府高等学校 養護教諭 川原 眞由美